

ユニットケアワンポイントセミナー

『現場が動く、そのヒント！』

一般社団法人 全国個室ユニット型施設推進協議会 実地研修施設



社会福祉法人 萩の里 特別養護老人ホーム 壱ノ町

『物事の視点と捉え方』

- 誰の為にやるのか？何の為にやるのか？
- 施設長や上司からの明確なメッセージ
- 目指すべき方向性(理念)とルールの徹底

『価値観はそれぞれ違う』

■新しい物事を始める時は、必ず反対する職員がいる！

■形だけ整えてもダメ、大切なのは『考え方』 考え方の浸透が一番の近道！

■根気強く、粘り強く、考え方を毎回説明し、職員には『小さな成功体験』を体感してもらう。

『劇的には変わらない』

■成功体験の積み重ねが、大きな成果に繋がる。

■反対していた職員がいずらくなる...（施設の中で必ずキーになる職員がいる）

■職員への主体性を大切にしながら、トップの熱い思いが大きな力に...

『考えて動かないと変わらない』

■待っていても、悩んでも解決しない！

■課題は多い方が良い⇒職員と対話する機会が増える

■遠回りしても、最後に同じゴールにたどり着けば良い。⇒施設の
財産

最後に

■リーダーや管理職は孤独です。だからこそ、現場で働く職員と何度も話し合い、『法人理念』や『誰の為にやるのか？』『目指すべき方向性はどこか？』を共有して運営する必要があります。

施設は24時間、365日休むことなく動いています。『走りながら考える！』是非、推進協の仲間と共に、実のある充実した施設を一緒に作り上げて行きましょう。